

「キャリア・ノート」指導・活用の手引き【概要版】

キャリア教育…教育活動全体の中で基礎的・汎用的能力を育む

基礎的・汎用的能力



人間関係形成・社会形成能力

他者を理解する力、コミュニケーション・スキルなど…

人とつながる力



自己理解・自己管理能力

自己の役割の理解、自己の動機付け、忍耐力、主体的行動など…

自律する力



課題対応能力

情報の処理、課題発見、計画立案、実行力など…

課題発見・解決の力



キャリアプランニング能力

学ぶこと・働くことの目的・意義の理解、将来設計など…

将来を見通す力

意思決定

特別活動が学校全体で行うキャリア教育の要

学級活動(3)
一人一人のキャリア
形成と自己実現

見通しと振り返り

教材の活用

小・中・高等学校の
つながりの明確化

学級活動(3)の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等(=キャリア・パスポート)を活用すること。

キャリア教育を効果的に推進していくために

校長の
リーダーシップ

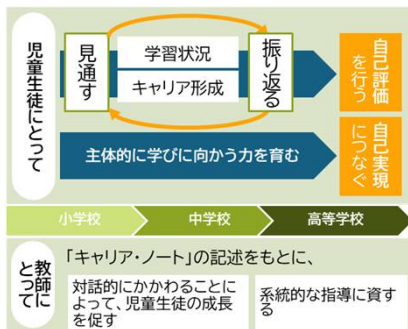
職場見学等
機会の確保

校内の組織
体制整備

幅広い地域住民等
との連携・協働

指導計画の作成

「キャリア・ノート」の目的



小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとって

- ・自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行う
- ・主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる

教師にとって

- ・記述をもとに対話的に関わることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導につなげる

2ページ

「キャリア・ノート」の意義や効果は？

3~4ページ

- ①児童生徒の自己理解を深める
- ②教師による児童生徒の理解を深める
- ③主体性・協働性を育む
- ④児童生徒との関わり方を家庭と共有する
- ⑤系統的なキャリア教育の充実につながる
- ⑥カリキュラム・マネジメントに役立つ

児童生徒が自ら記入します。
学年始め→中間の振り返り→学年の振り返りという構成になっています。

「キャリア・ノート」の活用について

7ページ

○必ず書き込むページ

各学年、以下の2ページは必須の内容
(小6は3ページ)

- ・年度始めの目標設定ページ
- ・年度終わりの振り返りページ
- ※6年生の「自分を知ろう」ページ

○中間ページについて

- ・県の指定様式でなく、学校で作成した独自様式を使用してもよい
- ※その場合は「キャリア・ノート」に貼り付ける
- ・掲載ページ以外の内容を大分県教育委員会のHPに例示している。

○蓄積する媒体について

- ・別紙で取り組んだものは「キャリア・ノート」に直接貼り付けて蓄積・保管する

指導・活用上の注意点と引き継ぎについて

12~13ページ

○キャリア・ノートの管理について

管理は、原則として学校が行う

○教師との対話、児童生徒同士の話し合いを大切にする

○保護者への周知と協力の依頼を行う

●引き継ぎについて

- ①学年間…原則教師間でおこなう
- ②学校間…

[小→中]進学先の中学校へ教師間で行う

[中→高]卒業時に生徒に返却し、保管

[国立学校・他県へ進学]児童生徒に返却し、保管

[転出]…児童生徒に返却し次の学校へ提出

[転入]…前の学校で使用したものを提出